

カリキュラムマップ  
健康医療スポーツ学部  
理学療法学科  
(H28年度～H30年度  
入学生)

● 必修  
○ 選択

—— 前期  
- - - - 後期  
- - - - 通年

DP1 社会生活を営む上で、多様な文化や背景を理解し、意見を交わすことができる知識とコミュニケーション能力を有している。

DP2 グローバル社会に対応できる身体的・精神的な健康情報を把握し、必要な行動を示すことができる自己管理能力を有している。

DP3 理学療法学領域の知識と技術および態度、それらを適切に活用できる実践力と責任感、倫理観を有している。

DP4 一般常識を大切に考え、社会や障がいのある人に対して、積極的に健康管理・医療・スポーツなどを介しながら貢献できる能力を有している。

国家試験

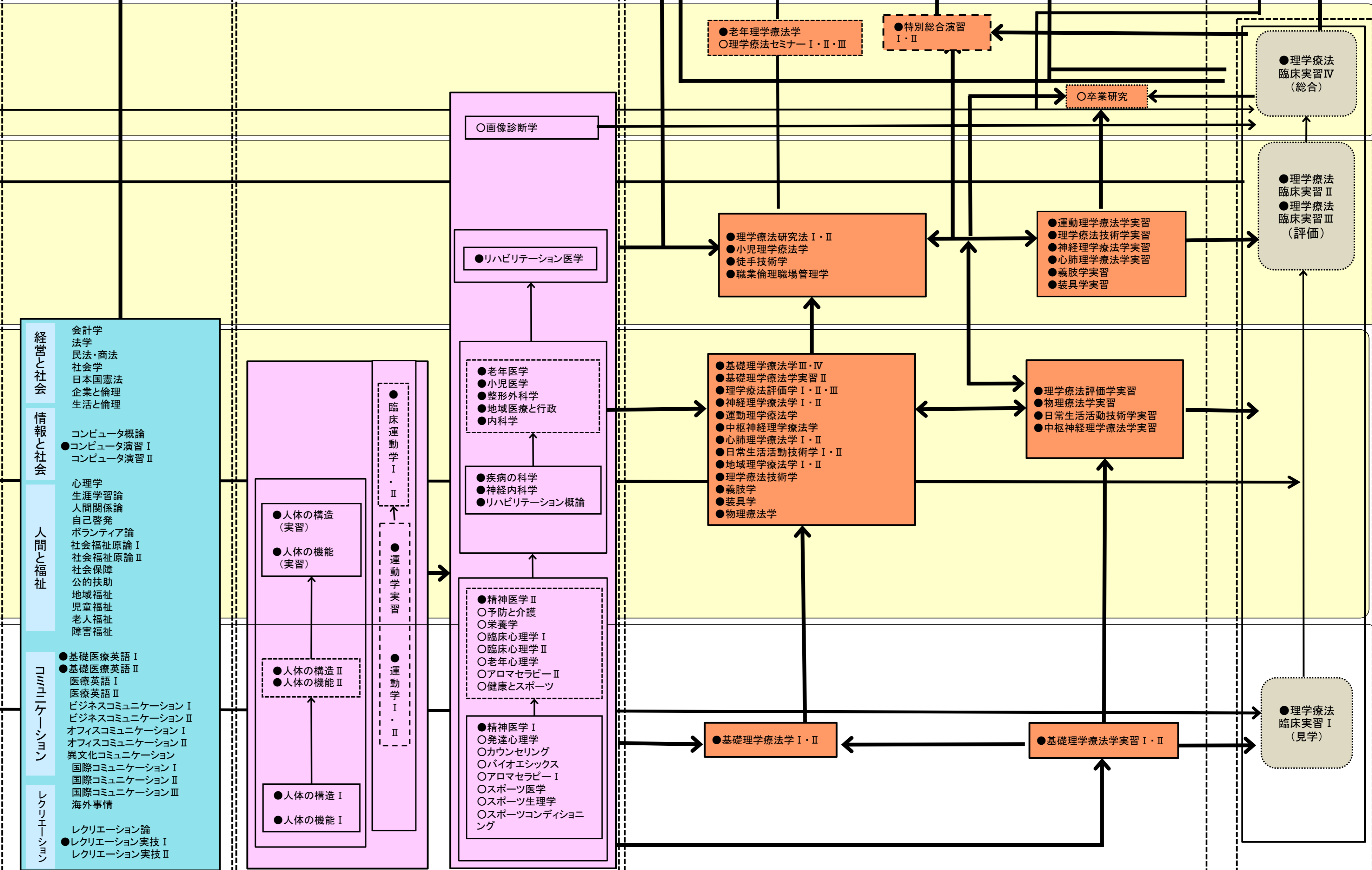
4 臨床実践能力の獲得

3 専門的思考の育成

2 専門分野の基盤構築

1 教養と専門分野への動機付け

年次



- 経営と社会**
- 会計学
  - 法学
  - 民法・商法
  - 社会学
  - 日本国憲法
  - 企業と倫理
  - 生活と倫理
- 情報と社会**
- コンピュータ概論
  - コンピュータ演習 I
  - コンピュータ演習 II
- 人間と福祉**
- 心理学
  - 生涯学習論
  - 人間関係論
  - 自己啓発
  - ボランティア論
  - 社会福祉原論 I
  - 社会福祉原論 II
  - 社会保障
  - 公的扶助
  - 地域福祉
  - 児童福祉
  - 老人福祉
  - 障害福祉
- コミュニケーション**
- 基礎医療英語 I
  - 基礎医療英語 II
  - 医療英語 I
  - 医療英語 II
  - ビジネスコミュニケーション I
  - ビジネスコミュニケーション II
  - オフィスコミュニケーション I
  - オフィスコミュニケーション II
  - 異文化コミュニケーション
  - 国際コミュニケーション I
  - 国際コミュニケーション II
  - 国際コミュニケーション III
  - 海外事情
- レクリエーション**
- レクリエーション論
  - レクリエーション実技 I
  - レクリエーション実技 II

- 人体の構造 (実習)**
- 人体の機能 (実習)**
- 人体の構造 II**
- 人体の機能 II**
- 人体の構造 I**
- 人体の機能 I**

- 精神医学 II**
- 予防と介護
  - 栄養学
  - 臨床心理学 I
  - 臨床心理学 II
  - 老年心理学
  - アロマセラピー II
  - 健康とスポーツ
- 精神医学 I**
- 発達心理学
  - カウンセリング
  - バイオエシックス
  - アロマセラピー I
  - スポーツ医学
  - スポーツ生理学
  - スポーツコンディショニング

- 基礎理学療法学 I・II**
- 基礎理学療法学 III・IV
  - 基礎理学療法学実習 II
  - 理学療法評価学 I・II・III
  - 神経理学療法学 I・II
  - 運動理学療法学
  - 中枢神経理学療法学
  - 心肺理学療法学 I・II
  - 日常生活活動技術学 I・II
  - 地域理学療法学 I・II
  - 理学療法技術学
  - 義肢学
  - 装具学
  - 物理療法学

- 基礎理学療法学実習 I・II**
- 理学療法評価学実習
  - 物理療法学実習
  - 日常生活活動技術学実習
  - 中枢神経理学療法学実習

- 理学療法研究法 I・II**
- 小児理学療法学
  - 徒手技術学
  - 職業倫理職場管理学

- 運動理学療法学実習**
- 理学療法技術学実習
  - 神経理学療法学実習
  - 心肺理学療法学実習
  - 義肢学実習
  - 装具学実習

- 老年理学療法学**
- 理学療法セミナー I・II・III

- 特別総合演習 I・II**

- 卒業研究

- 理学療法臨床実習IV (総合)**

- 理学療法臨床実習II**
- 理学療法臨床実習III (評価)**

- 理学療法臨床実習I (見学)**

学部共通  
セミナー  
コア  
カリキュラム

教養科目  
社会人としての教養を  
身につける

専門基礎科目  
医療人としての基礎知識を身につける

専門科目  
理学療法士としての基礎知識と応用力を身につける

専門科目  
臨床実習

# カリキュラムマップ

## 健康医療スポーツ学部 理学療法学科 (H24年度～H27年度入学生)

● 必修  
○ 選択

—— 前期  
- - - - 後期  
- - - - 通年

DP1 社会生活を営む上で、多様な文化や背景を理解し、意見を交わすことができる知識とコミュニケーション能力を有している。

DP2 グローバル社会に対応でき身体的・精神的な健康情報を把握し、必要な行動を示すことができる自己管理能力を有している。

DP3 理学療法学領域の知識と技術および態度、それらを適切に活用できる実践力と責任感、倫理観を有している。

DP4 一般常識を大切に考え、社会や障がいのある人に対して、積極的に健康管理・医療・スポーツなどを介しながら貢献できる能力を有している。

### 国家試験

**4** 臨床実践能力の獲得

**3** 専門的思考の育成

**2** 専門分野の基盤構築

**1** 教養と専門分野への動機付け

学びのステップ

**経営と社会**  
会計学  
法学  
民法・商法  
社会学  
日本国憲法  
企業と倫理  
生活と倫理

**情報と社会**  
コンピューター概論  
●コンピューター演習 I  
コンピューター演習 II

**人間と福祉**  
心理学  
生涯学習論  
人間関係論  
自己啓発  
ボランティア論  
社会福祉原論 I  
社会福祉原論 II  
社会保障  
公的扶助  
地域福祉  
児童福祉  
老人福祉  
障害福祉

**コミュニケーション**  
●基礎医療英語 I  
●基礎医療英語 II  
医療英語 I  
医療英語 II  
ビジネスコミュニケーション I  
ビジネスコミュニケーション II  
オフィスコミュニケーション I  
オフィスコミュニケーション II  
異文化コミュニケーション  
国際コミュニケーション I  
国際コミュニケーション II  
国際コミュニケーション III  
海外事情

**レクリエーション**  
レクリエーション論  
●レクリエーション実技 I  
レクリエーション実技 II

**●画像診断学**

**●リハビリテーション医学**

●老年医学  
●小児医学  
●整形外科学  
●地域医療と行政  
●内科学

●疾病の科学  
●神経内科学  
●リハビリテーション概論

●精神医学 II  
○予防と介護  
○栄養学  
○臨床心理学 I  
○臨床心理学 II  
○老年心理学  
○アロマセラピー II  
○健康とスポーツ

●精神医学 I  
○発達心理学  
○カウンセリング  
○バイオエシックス  
○アロマセラピー I  
○スポーツ医学  
○スポーツ生理学  
○スポーツコンディショニング

●人体の構造 (実習)  
●人体の機能 (実習)

●人体の構造 II  
●人体の機能 II

●人体の構造 I  
●人体の機能 I

●臨床運動学

●運動学  
●運動学 (実習)

○理学療法セミナー I・II・III

●特別総合演習

●理学療法研究法 I  
●理学療法研究法 II  
●徒手技術学  
●職場倫理職場管理学

●基礎理学療法学 II  
●理学療法評価学 II  
●神経理学療法学  
●運動理学療法学  
●中枢神経理学療法学  
●小児理学療法学  
●心肺理学療法学  
●日常生活活動技術学  
●地域理学療法学  
●老年理学療法学  
●理学療法技術学  
●義肢学  
●装具学

●基礎理学療法学 I  
●理学療法評価学 I  
●物理療法学

●卒業研究

●運動理学療法学実習  
●理学療法技術学実習  
●神経理学療法学実習  
●心肺理学療法学実習

●基礎理学療法学実習 II  
●物理療法学実習  
●日常生活活動技術学実習  
●義肢学実習  
●装具学実習  
●中枢神経理学療法学実習

●基礎理学療法学実習 I  
●理学療法評価学実習

●理学療法臨床実習 IV (総合)

●臨床実習 II  
●臨床実習 III (評価)

●理学療法臨床実習 I (見学)

年次	学部共通 セミナー コア カリキュラム	教養科目 社会人としての教養を 身につける	専門基礎科目 医療人としての基礎知識を身につける	専門科目 理学療法士としての基礎知識と応用力を身につける	専門科目 臨床実習
----	------------------------------	-----------------------------	-----------------------------	---------------------------------	--------------